

134年の歴史に



幕を下ろす

—五ヶ荘小学校閉校記念式典—

▲参加者全員で記念撮影

第一部



▲250人が出席して行われた閉校式典

その後、今西校長から勝田正巳教育委員長に、長年親しまれ、引き継がれてきた校旗の返還が行われ、最後に五ヶ荘小学校児童二十二人が、感謝の気持ちや思い出を発表し、参加者全員で校歌を斉唱しました。

三月二十四日、殿田小学校との統合を控えた南丹市立五ヶ荘小学校の閉校記念式典に、卒業生や地元の市民らおよそ二百五十人が集まり五ヶ荘小学校の閉校を惜しみました。

式は二部構成で行い、一部では、五ヶ荘小学校の児童、教職員ら出席の下、式典を行いました。式典では、牧野修教育長から、統合に至る経過が報告され、佐々木稔納市長と今西徹五ヶ荘小学校長が式辞を述べました。また戸田雄一郎京都市南丹広域振興局長、高橋芳治南丹市議会議長、加

地一郎五ヶ荘教育振興会長らのあいさつに続き、小林隆良PTA会長が「五ヶ荘小学校との思い出はいつまでも忘れません」とあいさつをされました。



▲全校児童によるお別れの言葉